

介護保険改正目前

小規模多機能ホームの

本質と制度を考える

あなたの目の前にいるお年寄りは、
その人の望む暮らしをされていますか？

主催：全国宅老所・グループホーム研究交流フォーラム2006実行委員会
宅老所・グループホーム全国ネットワーク
岡山県民間デイ連絡会

倉敷市民会館(岡山県)

2005年11月12日(土)～13日(日)／11日(金)前夜企画も開催！

共 催 特養・老健・医療施設ユニットケア研究会
地域サテライトケア推進プロジェクト
小規模多機能ホーム研究会

趣 旨 今年で9回目を迎える本フォーラムは、98年に開催した第1回から「通って、泊まって、自宅にも来てくれて、いざとなったら住むこともできる」利用者主体のサービスのあり方を提唱してきました。この宅老所の運動は、来年4月の介護保険改正で、小規模多機能型居宅介護（仮称）として制度化されようとしています。

今回のおかやまでの開催では、制度化に向けた小規模多機能ホームの本質を議論するとともに、宅老所の原点を見つめ直し、これからの地域を主体とした生活支援のあり方について議論することを目的に開催します。

前夜企画【11月11日（金）】

全国から本フォーラムのために、前泊でいらっしゃっている方のための自由参加企画。

前夜企画のみの参加については、有料となります。

時 間	内 容
17:45～18:00	前夜企画オープニング「ようこそ、おかやま」へ NPO 法人元気交流クラブたけのこの家によるコーラスが皆様をお出迎えします
18:00～18:45	おかやま発「実践報告リレー」 【実践報告1】たけのこの家 代 表 澤 健 【実践報告2】くわの実 管理者 武 本 一 良 【実践報告3】てんとう虫 代 表 大 森 町 子
18:45～19:00	休 憩
19:00～21:00	おかやま発「一人ひとりの暮らしの継続へのこだわりとその本質」 <div>岡山県内の宅老所実践者を囲み、座談会形式で行います。聞くばかりではなく、自分の意見も発言したい!という皆さんのお悩み解決に絶好のチャンス!</div> パネラー 由生の家 生活相談員 児 玉 和 昭 香々庵 管理者 吉 田 博 行 ぶどうの家 代 表 津 田 由起子 コーディネーター きのこ老人保健施設 副施設長 武 田 和 典

1日目【11月12日（土）】

時 間	内 容
10:00～10:30	開 会
10:30～11:30	宅老所への誘い「小規模多機能ホームの原点・宅老所の生まれ方・育ち方」 <div>今、注目を集めている小規模多機能ホームの原点は宅老所のケアにあります。宅老所の誕生が、お年寄りの生活支援の世界に与えた衝撃を、岡山県の取り組みの中から報告します。高齢者介護の革命の原点は宅老所にあり!</div> 報告者 のどか宅老所（岡山県） 代 表 矢 山 修 一 きのこエスポール病院（岡山県） 院 長 佐々木 健 聞き手 岡山県立大学保健福祉学部 教 授 香 川 幸次郎
11:30～12:00	行政説明「地域密着型サービスと小規模多機能型居宅介護（仮称）」 <div>「小規模多機能型居宅介護（仮称）」などの「地域密着型サービス」の全容をいち早く皆さんにお伝えします。 制度化目前の「地域密着型サービス」について知りたい方、必聴です!</div> 報告者 厚生労働省老健局計画課 課長補佐 山 田 登志夫
12:00～13:00	昼食・休憩

時 間	内 容
13:00～14:10	<p>ディスカッション「小規模多機能ホームの本質と展開の方法」</p> <div> <p>小規模多機能ホームのケアは、従来のケアと何が違うのでしょうか。そのポイントを探るとともに、ケアの質を高めるための研修や評価、市町村行政との連携のあり方を議論します。</p> </div> <p>パネラー 宅老所・グループホーム全国ネットワーク 代表世話人 川 原 秀 夫 札幌市保健福祉局健康衛生部（北海道） 健康づくり担当部長 館 石 宗 隆 認知症介護研究・研修東京センター ケアマネジメント推進室長 永 田 久美子</p> <p>コーディネーター 季刊・痴呆性老人研究 編集長 泉 田 照 雄</p>
14:10～14:30	休 憩
14:30～16:10	<p>シンポジウム「住み慣れた地域での暮らしの継続と支援のあり方を考える」</p> <div> <p>地域密着型サービスの創設で、暮らしの継続を支援するサービス事業者の、日常生活圏域毎のネットワークが重要になってきました。生活圏で生活支援をどのように組み立てていくのかを、さまざまな立場から考え合います。</p> </div> <p>シンポジスト 【宅老所（小規模多機能ホーム）の立場から】 宅老所・グループホーム全国ネットワーク 代表世話人 田 中 正 廣 【グループホームの立場から】 ミニケアホームきみさんち（東京都） 理事長 林 田 俊 弘 【特別養護老人ホームの立場から】 特養・アザレアンさなだ（長野県） 施設長 宮 島 渡 【老人保健施設の立場から】 きのこ老人保健施設（岡山県） 副施設長 武 田 和 典 【在宅サービスの立場から】 ジャパンケアサービス（東京都） 代表取締役 対 馬 徳 昭 【行政の立場から】 厚生労働省老健局計画課 課 長 川 尻 良 夫 コーディネーター 全国社会福祉協議会地域福祉部 部 長 渋谷 篤 男</p>
16:10～16:30	休 憩
16:30～17:40	<p>ディスカッション「地域密着・小規模多機能ホームへの期待と課題」</p> <div> <p>「地域で暮らし続けたい」というお年寄り本人と家族の思いや願いに寄り添い、応えることで生まれた小規模多機能ホーム。その小規模多機能ホームが制度化されるにあたっての、期待と課題を話し合います。</p> </div> <p>パネラー 託老所あんき（愛媛県） 代 表 中 矢 暁 美 全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池 田 昌 弘 厚生労働省老健局計画課認知症対策推進室 室 長 渡 辺 由美子 コーディネーター 神戸学院大学総合リハビリテーション学部 助教授 藤 井 博 志</p>
17:40～18:30	懇親会参加者は移動
18:30～20:00	懇親会（倉敷チボリ公園内 / アンデルセンホール）

時 間	内 容
9:30～12:00	【第1分科会】実践者が語る、地域での暮らしの継続を支える小規模多機能ホーム 「制度化になっても変わらない・ケアの本質」
	<p>小規模多機能ホームは、お年寄りとその家族の声に応えて、制度にはなくても必要な支援を提供してきました。制度化されても変わらない本人中心の支援への思いとケアの本質を、先駆者が熱く語ります。</p>
	<p>パネラー</p> <p>ひまわりの家（静岡県） 代 表 西 谷 祐 一</p> <p>ぶどうの家（岡山県） 代 表 津 田 由起子</p> <p>グループホームことぶき園（島根県） 管理者 槻 谷 庸 子</p> <p>コーディネーター</p> <p>岡山県立大学保健福祉学部 教 授 香 川 幸次郎</p>
	【第2分科会】小規模多機能ホームのケア「思いを形にするためのケアあり方」
	<p>小規模多機能ホームでは、具体的にどのように暮らしを支えているのでしょうか。お年寄り一人ひとりのケアのあり方に注目し、小規模多機能ホームの可能性を探ります。</p>
	<p>パネラー</p> <p>蒲生の家（大阪府） 主 任 大 串 寿 子</p> <p>民間デイサービス色えんびつ（岡山県） 管理者 田 中 金 子</p> <p>よいやんせ（鹿児島県） 代 表 黒 岩 尚 文</p> <p>岡山県介護支援専門員連絡協議会 会 長 堀 部 徹</p> <p>コーディネーター</p> <p>季刊・痴呆性老人研究 編集長 泉 田 照 雄</p>
	【第3分科会】自宅や地域で暮らし続けることを支援するターミナルケアの実際
	<p>介護・看護・医療の専門職や支援者が連携・協働して、最期まで自宅や地域での暮らしを支援してきた実践例をもとに、具体的な支援方法や連携・協働のあり方などについて考え合います。</p>
	<p>パネラー</p> <p>のんびーりすみちゃんの家（宮城県） 代 表 伊 藤 寿美子</p> <p>ひばりクリニック（栃木県） 院 長 高 橋 昭 彦</p> <p>千葉・在宅ケア市民ネットワークピュア（千葉県） 代 表 藤 田 敦 子</p> <p>東松山訪問看護ステーション（愛媛県） 所 長 安 藤 眞知子</p> <p>コーディネーター</p> <p>神戸学院大学総合リハビリテーション学部 助教授 藤 井 博 志</p>

時 間	内 容																																		
9 : 30 ~ 12 : 00	<p>【第4分科会】家族や関係機関のネットワークで支える地域での暮らしの継続</p> <div> <p>家族や地域住民などとともに、さまざまな機関や専門職が連携することで、地域での暮らしが継続できる可能性は広がります。地域でのネットワークの意義とその方法について考え合います。</p> </div> <p>パネラー</p> <table> <tr> <td>呆け老人を抱える家族の会岡山県支部</td><td>事務局長 有 田 博 紀</td></tr> <tr> <td>ハートアンドハンド（岡山県）</td><td>所 長 山 本 栄 子</td></tr> <tr> <td>身体障害者療護施設竜ノ口寮（岡山県）</td><td>寮 長 森 繁 樹</td></tr> <tr> <td>岡山県作業療法士会学術部</td><td>高齢者部門担当 奥 田 真由美</td></tr> <tr> <td>岡山県社会福祉協議会地域福祉部</td><td>部 長 山 本 茂 樹</td></tr> </table> <p>コーディネーター</p> <table> <tr> <td>吉備国際大学社会福祉学部</td><td>助教授 平 松 正 臣</td></tr> </table> <p>【第5分科会】住民がつくる地域福祉サービスの実践</p> <div> <p>自分たちの地域の支援サービスは自分たちでつくる！そんな動きが今、広がっています。当事者や地域住民が自ら考え行動し、ともに支え合うといった、地域に根ざしたサービスとはどういうものかを考え合います。</p> </div> <p>パネラー</p> <table> <tr> <td>フェリスモンテ（大阪府）</td><td>理事長 山王丸 由紀子</td></tr> <tr> <td>宝塚市社会福祉協議会長尾地区センター（兵庫県）</td><td>担 当 高 木 厚 子</td></tr> <tr> <td>夢ゆめハウス（岡山県）</td><td>理事長 池 田 美枝子</td></tr> </table> <p>サポーター</p> <table> <tr> <td>厚生労働省社会・援護局地域福祉課</td><td>地域福祉専門官 中 村 美安子</td></tr> </table> <p>コーディネーター</p> <table> <tr> <td>全国社会福祉協議会地域福祉部</td><td>副部長 高 橋 良 太</td></tr> </table> <p>【第6分科会】地域での暮らしの継続を支えるための介護予防</p> <div> <p>介護状態にならないための予防や、支援が必要となっても自立した暮らしができるようにするためのリハビリは、地域での暮らしを継続するための重要な要素です。介護予防の意義をさまざまな立場から掘り下げていきます。</p> </div> <p>パネラー</p> <table> <tr> <td>大阪市東住吉区今川校区社会福祉協議会ボランティア部(大阪府)</td><td>部 長 澤 田 博 子</td></tr> <tr> <td>アール・ケア（岡山県）</td><td>代表取締役 山 根 一 人</td></tr> <tr> <td>倉敷市社会福祉協議会（岡山県）</td><td>福祉課長 高 尾 肇</td></tr> <tr> <td>高知市健康づくり課（高知県）</td><td>副参事 吉 永 智 子</td></tr> <tr> <td>岡山県保健福祉部長寿社会対策課</td><td>総括副参事 原 英 二</td></tr> </table> <p>コーディネーター</p> <table> <tr> <td>福山平成大学福祉健康学部</td><td>教 授 藤 井 悟</td></tr> </table>	呆け老人を抱える家族の会岡山県支部	事務局長 有 田 博 紀	ハートアンドハンド（岡山県）	所 長 山 本 栄 子	身体障害者療護施設竜ノ口寮（岡山県）	寮 長 森 繁 樹	岡山県作業療法士会学術部	高齢者部門担当 奥 田 真由美	岡山県社会福祉協議会地域福祉部	部 長 山 本 茂 樹	吉備国際大学社会福祉学部	助教授 平 松 正 臣	フェリスモンテ（大阪府）	理事長 山王丸 由紀子	宝塚市社会福祉協議会長尾地区センター（兵庫県）	担 当 高 木 厚 子	夢ゆめハウス（岡山県）	理事長 池 田 美枝子	厚生労働省社会・援護局地域福祉課	地域福祉専門官 中 村 美安子	全国社会福祉協議会地域福祉部	副部長 高 橋 良 太	大阪市東住吉区今川校区社会福祉協議会ボランティア部(大阪府)	部 長 澤 田 博 子	アール・ケア（岡山県）	代表取締役 山 根 一 人	倉敷市社会福祉協議会（岡山県）	福祉課長 高 尾 肇	高知市健康づくり課（高知県）	副参事 吉 永 智 子	岡山県保健福祉部長寿社会対策課	総括副参事 原 英 二	福山平成大学福祉健康学部	教 授 藤 井 悟
呆け老人を抱える家族の会岡山県支部	事務局長 有 田 博 紀																																		
ハートアンドハンド（岡山県）	所 長 山 本 栄 子																																		
身体障害者療護施設竜ノ口寮（岡山県）	寮 長 森 繁 樹																																		
岡山県作業療法士会学術部	高齢者部門担当 奥 田 真由美																																		
岡山県社会福祉協議会地域福祉部	部 長 山 本 茂 樹																																		
吉備国際大学社会福祉学部	助教授 平 松 正 臣																																		
フェリスモンテ（大阪府）	理事長 山王丸 由紀子																																		
宝塚市社会福祉協議会長尾地区センター（兵庫県）	担 当 高 木 厚 子																																		
夢ゆめハウス（岡山県）	理事長 池 田 美枝子																																		
厚生労働省社会・援護局地域福祉課	地域福祉専門官 中 村 美安子																																		
全国社会福祉協議会地域福祉部	副部長 高 橋 良 太																																		
大阪市東住吉区今川校区社会福祉協議会ボランティア部(大阪府)	部 長 澤 田 博 子																																		
アール・ケア（岡山県）	代表取締役 山 根 一 人																																		
倉敷市社会福祉協議会（岡山県）	福祉課長 高 尾 肇																																		
高知市健康づくり課（高知県）	副参事 吉 永 智 子																																		
岡山県保健福祉部長寿社会対策課	総括副参事 原 英 二																																		
福山平成大学福祉健康学部	教 授 藤 井 悟																																		

時 間	内 容																
9 : 30 ~ 12 : 00	【第7分科会】地域密着型サービス・小規模多機能型居宅介護の行政支援と協働 <div> 2006年の介護保険改正で、市町村は自らの地域の福祉を主体的に考えることが求められるようになります。この分科会では、実践例をもとに、市町村の役割と地域密着型サービスへの支援のあり方を考え合います。 </div> <p>パネラー</p> <table> <tr> <td>街かどケア滋賀ネット</td><td>代 表 溝 口 弘</td></tr> <tr> <td>東金市市民福祉部（千葉県）</td><td>部 長 斉 藤 操</td></tr> <tr> <td>佐賀県健康福祉本部長寿社会課</td><td>主 幹 廿 千 博 之</td></tr> <tr> <td>厚生労働省老健局計画課痴呆対策推進室</td><td>室長補佐 池 田 武 俊</td></tr> </table> <p>コーディネーター</p> <table> <tr> <td>日本福祉大学社会福祉学部</td><td>教 授 平 野 隆 之</td></tr> </table>	街かどケア滋賀ネット	代 表 溝 口 弘	東金市市民福祉部（千葉県）	部 長 斉 藤 操	佐賀県健康福祉本部長寿社会課	主 幹 廿 千 博 之	厚生労働省老健局計画課痴呆対策推進室	室長補佐 池 田 武 俊	日本福祉大学社会福祉学部	教 授 平 野 隆 之						
街かどケア滋賀ネット	代 表 溝 口 弘																
東金市市民福祉部（千葉県）	部 長 斉 藤 操																
佐賀県健康福祉本部長寿社会課	主 幹 廿 千 博 之																
厚生労働省老健局計画課痴呆対策推進室	室長補佐 池 田 武 俊																
日本福祉大学社会福祉学部	教 授 平 野 隆 之																
12 : 00 ~ 13 : 00	昼食・休憩																
13 : 00 ~ 14 : 50	まとめのセッション「宅老所・グループホームのこれから」 - 小規模多機能ホームと地域共生ホームの可能性 - <div> 小規模多機能ホームを築く一方で、障害の有無や年齢を問わない、誰もが地域で住み続けることを支援する「地域共生ホーム」を育んできた「宅老所・グループホーム」の、これからの展開と課題を探っていきます。 </div> <p>パネラー</p> <table> <tr> <td>このゆびとーまれ（富山県）</td><td>代 表 惣 万 佳代子</td></tr> <tr> <td>北海道医療大学</td><td>助教授 向谷地 生 良</td></tr> <tr> <td></td><td>（浦河べてるの家）</td></tr> <tr> <td>岡山県保健福祉部長寿社会対策課</td><td>課 長 藤 田 成 美</td></tr> <tr> <td>厚生労働省老健局振興課</td><td>課 長 古 都 賢 一</td></tr> <tr> <td>国土交通省住宅局住宅政策課</td><td>課 長 依 田 晶 男</td></tr> </table> <p>コーディネーター</p> <table> <tr> <td>福祉と医療・現場と政策をつなぐ「えにし」ネット／えにし結び係</td><td></td></tr> <tr> <td>国際医療福祉大学大学院</td><td>教 授 大 熊 由紀子</td></tr> </table>	このゆびとーまれ（富山県）	代 表 惣 万 佳代子	北海道医療大学	助教授 向谷地 生 良		（浦河べてるの家）	岡山県保健福祉部長寿社会対策課	課 長 藤 田 成 美	厚生労働省老健局振興課	課 長 古 都 賢 一	国土交通省住宅局住宅政策課	課 長 依 田 晶 男	福祉と医療・現場と政策をつなぐ「えにし」ネット／えにし結び係		国際医療福祉大学大学院	教 授 大 熊 由紀子
このゆびとーまれ（富山県）	代 表 惣 万 佳代子																
北海道医療大学	助教授 向谷地 生 良																
	（浦河べてるの家）																
岡山県保健福祉部長寿社会対策課	課 長 藤 田 成 美																
厚生労働省老健局振興課	課 長 古 都 賢 一																
国土交通省住宅局住宅政策課	課 長 依 田 晶 男																
福祉と医療・現場と政策をつなぐ「えにし」ネット／えにし結び係																	
国際医療福祉大学大学院	教 授 大 熊 由紀子																
14 : 50 ~ 15 : 00	閉 会																

参加定員 1,500人

参加費 12,000円

資料代 3,000円

（宅老所・グループホーム全国ネットワーク会員：1,000円／1会員1人のみ）

申し込みに関するお問い合わせ先

JTB仙台支店法人営業部

〒980-0811 仙台市青葉区一番町3-6-1 佐々重ビル6階

TEL 022 263 6713 FAX 022 263 6693

担当：堀越・阿部友香里 受付時間／平日9：30～17：30 土・日・祝日／休み

内容に関するお問い合わせ先

全国宅老所・グループホーム研究交流フォーラム2006実行委員会

〒981-0954 仙台市青葉区川平5-3-18-207（CLC東日本内）

TEL 022 719 9240 FAX 022 719 9251

担当：山越・國分